

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

β 遮断薬を用いない心臓 CT Angiography の画像評価

[研究責任者]

医療技術局 放射線室 下村 勇人

[研究の背景]

2021 年 9 月に当院に導入された RevolutionCT (GEhealthcare 社) で行う冠動脈撮影 (CT coronary angiography 以下 CTCA) は、心臓の範囲を 1 回転で撮影可能となり、冠動脈の動きやブレによる画像の不鮮明化 (以下 モーションアーチファクト) を抑える動態解析アルゴリズムである Snap Shot Freeze 2 (以下 SSF2) との併用により、高心拍や不整脈の症例においても動きの少ない良好な画像を提供することが可能となった。

従来は、高心拍数や不整脈の症例に対して心拍数を抑える作用がある β 遮断薬を使用していたが、CT 更新時、協議により β 遮断薬を使用しない運用へ変更した。しかし、これらの運用変更に伴う画質への詳細な影響は検証されていない。

[研究の目的]

RevolutionCT と SSF2 を併用し、 β 遮断薬を使用せずに撮影した画像から、高心拍数や不整脈であっても診断に適した画像を提供可能かを検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

冠動脈疾患の患者さんで、西暦 2021 年 9 月 20 日から西暦 2022 年 5 月 30 日の間 Revolution CT 装置で CTCA を受けた方

●研究期間：西暦 2021 年 10 月 27 日から西暦 2022 年 11 月 10 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：画像データ (通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。)

カルテ情報：画像検査

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 放射線室 下村 勇人

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913